

禁じられた約束

ウェストール作 野沢佳織訳 徳間書店

第二次大戦前の、英国の海辺の小さな町。十四歳のボブは、クラスメイトで美少女のヴァレリーに恋をした。彼女は裕福な家のお嬢さん、ボブは労働者階級で身分の違いがあったが、急速に親しくなった。病弱なヴァレリーは、自分の行く末がわかっていたのだろう。「最近では毎晩見るの。迷子になって、家から遠く離れたところにおいて、だれひとり探して来てくれない夢……。あなたは来てくれる？」ボブは安易に「うん、さかしに行くよ」と答えた。それが恐怖の世界への入り口だとも知らずに。

